

人～～青梅丘陵から青梅の森へ～～人

日時:2018年7月1日(日) <やや健脚>

集合:青梅線「宮ノ平駅」10時 天候:晴れ 18000歩 約12km

コース:宮ノ平駅→矢倉台→青梅丘陵→青梅の森→展望広場→おにぎり岩→北谷津→吹上しょうぶ公園→東青梅駅

参加者:中村ゆ(L) 栗田(SL) 市村(SL) 勅使河原 吉越 平石 熊坂 伊藤眞 青松秀 菊池 清水正 長井 小島
高橋紀 加納 奥村 山田 畠 脇坂 岩元 松野 計21名

関東地方の梅雨明けは観測史上初の6月29日でしたが、「梅雨明け十日」と言われるように、梅雨明けから10日間は厳しい暑さが続くようです。明けて3日目のこの日も朝から晴天、青梅線宮ノ平駅も強い日差しで、これから歩く青梅丘陵が案じられます。駅からは「やや健」たる所以の本日一番の急登坂！矢倉台まで約40分・・・いきなりの山道で息が上がります。リーダーもその辺りは十分承知、頻りに水分補給の休憩タイムをとります。ただ木立を渡る風は涼しく、着いた矢倉台からの展望には疲れも飛ぶほど。遥か遠くには高層ビル群が霞んで見えます。ランチ後は、第二休憩所分岐で“ロスタイム”のサービス？が・・・まあこれもご愛敬！何故ここにあるのか奇妙な「おにぎり岩」を見学。“適度”なアップダウンのある丘陵コースには、富士山が望める場所がありますが、この日は雲がかかりその姿は見えません。下界に下りると強い日差しのお出迎え、全く人通りのない道を「吹上しょうぶ公園」へ。時期は終わっていますが、一部に僅かに残る花を見つけ日陰で暫し休憩。ここからゴールの東青梅駅に向かいましたが、真夏の山歩きは体力勝負、どうやら私にはこの辺りが限界かと痛感したウォークでした。

<フォトレポート小島>



森の木陰にポツンと佇む「おにぎり岩」。このおにぎり、中の具はウメ・シャケ・オカカ・・・？



青梅線宮ノ平駅前。定刻前には集合が完了。



中村ゆしより本日のコース説明。



駅横の木陰で熊坂さんのストレッチ。



駅の裏側に出て前方に見える青梅丘陵を目指す。



分かりやすい案内板も完備。



上り始めて早速の給水タイム。



さらにここでも小休止。汗が・・・



先頭を行くしは余裕の軽い足取り！



「多摩川を歩く」でお馴染みの大岳が見えます。



風通しのいい休憩所でほっと一息。



その先でも適宜水分補給の休憩タイムをとる。



青梅丘陵ハイキングコースは緑に溢れた歩きやすい道。谷側から吹き上がる風が気持ち良い！



こんな所に仏舎利塔が？



ベンチがある所では即座る癖が！



最強コンビのL&SLが先導。



お待ちかねのランチは景色の良い展望広場で。



各自木陰を選んでのランチタイム。弁当が旨い！



食べ終わった人は景色を眺めて暫しマッタリと。



実はこんな“危険”な場所でした！（知らなかった？）



出発前に全員集合。逆光気味で皆さんの顔が影になってしまいました。_(_)_



森を切り開いた「リスの展望広場」からの風景。



先客のお二人もシニア集団来襲に戸惑っていました！



その名も「おにぎり岩」そう言われれば確かに。



湿地帯に出ました。ここは風が通らず暑かった。



一列縦隊の行軍で前へ前へ・・・



この小橋はしっかり出来ていました。



アカマツ広場で休憩。円周状にベンチが並びまるで牧場。するとこの中に居る皆さんは“牛 or 馬”か？



“牧場”の中で皆さん揃っての集合写真。だいぶお疲れ気味の方も。



大きな石灯笼。この辺りは昭和初期の別荘地で庭園の跡。古城好きな私には郭跡にも見えますが・・・



下界に下り、コンビニでアイスタ임!



焼けつくような日差して歩いているのは我々だけ。



「吹上しょうぶ園」に到着です。しかし誰もいない！



入り口の池ではピンクの睡蓮が出迎えてくれました。



広い園内で僅かに残った孤高な菖蒲。



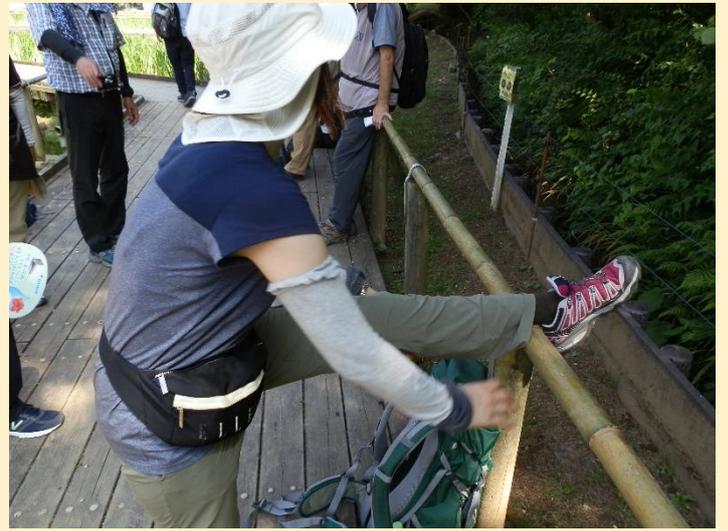
菖蒲の代わりにタチアオイが咲いていました。



土手には紫色の可憐な桔梗も咲いています。菖蒲はなくてもこれらの花で癒されました。



“花より日陰”の男性陣。でもこの人の目は花に！



お疲れ気味のLはお足のケア？良く伸びていますよ！



帰り際に池の周りの花を撮りましたが・・・これは？



こちらは「ミズカンナ」 説明板で知りました！



城前公園でストレッチ。もうあとは駅に行くだけ。



ゴールの東青梅駅に到着。皆さんお疲れ様でした！

END